

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	釜石市すくすく親子教室		
○保護者評価実施期間	令和7年1月30日		令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	令和7年1月30日		令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人一人に対する充実した支援の提供	小集団での活動のほか、個別活動を実施。個々の発達状況に応じた手厚い支援を行っている。また、音楽療法士による音楽療法を毎月実施している。支援後は職員間で振り返りを行い、課題や今後の支援方法など職員間で共有している。	保護者様への相談援助やフィードバックを丁寧に行っていく。
2	行政関係部署との連携	行政が運営する事業所であるため、母子保健、教育、福祉の関係部署との情報共有が迅速に行われている。	こども家庭センターと協議する場をセッティングし、課題の共有やそれぞれの役割分担を確認し、より良い支援提供につなげていく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内研修の継続実施や専門機関が開催する研修の受講が難しいこと	療育時間と研修時間が重なることが多いため、職員全員での研修が難しい。	施設内研修は、職員会議と併せて実施するなど時間設定の仕方を工夫する。勤務体制を工夫し、WEB研修の積極的な受講を勧めていく。
2	送迎を行っていないこと	送迎を行うための人員体制が整っていない。	同じ建物内に併設することも園の利用児(母子分離で療育を行っている年長児)については、職員が送迎(徒歩)を行う。
3			